

トルバプタンの薬理作用及び有効性指標に関する後向き検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年8月27日～2025年12月31日

〔研究課題〕 トルバプタンの薬理作用及び有効性指標に関する後向き検討

〔研究目的〕 バソプレシン V2 受容体拮抗薬トルバプタンは腎臓に作用し、水のみを排泄する新しいタイプの利尿薬で、体液コントロールにおける有効性が示唆されています。また一方で、常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPK) の患者様の腎機能障害にも進行抑制作用が報告されています。このように、トルバプタンは腎臓においてさまざまな作用があります。本研究では、当科の患者様でトルバプタンを内服されていた方を対象に、腎臓におけるトルバプタンの作用メカニズムや有効性の指標について後向きに研究することを目的としています。

〔研究意義〕 トルバプタンの有効性の指標が明らかとなれば、治療法の選択に有用である可能性があります。

〔対象・研究方法〕 調査対象となるのは2010年4月から本研究の終了までに当大学附属病院で治療を受けた患者さまです。調査項目は、年齢、性別、臨床症状、検査データ、治療方法、経過などです

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 研究で知り得た個人情報については、内科医局内で管理し、外部に漏洩しないように細心の注意を払って厳重に管理します。検体や臨床検査データを匿名化し、個人情報は付けずに番号だけを付けて扱います。研究終了後は、情報が外部に漏洩しない方法で破棄します。

〔その他〕 今回の研究で得られた全体的な結果については、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：柴田 茂

研究分担者：田村好古、山崎 修、酒井一広

所属：内科学講座

住所： TEL：03-3964-2079 (代表) [内線 20355]